



# 十勝岳の様々な砂防施設と監視機器

Various erosion control facilities and monitoring equipment for Mt. Tokachi.

大量の火山泥流を、1つの大きなえん堤で一度にせき止めることはできません。美瑛川と富良野川(およびその支流)沿いには、下に示すようなたくさんの施設が造られています。大きな施設は、数はあまり多くありませんが、1つの施設だけで大きな役割を果たします。

小さな施設をたくさん並べて造り、それら全体で大きな役割を果たすものもあります。

## 導流堤

泥流が広がって流れるのを防ぎ、床固工や砂防堰堤のある沢筋へと導きます。



美瑛川支流の硫黄沢に造られた導流堤

## 透過型砂防えん堤(ダム)

主に大きな岩や流木を止めるための施設



(2006年撮影)

富良野川2号透過型ダム

※現 旭川建設管理部

## 不透過型砂防えん堤(ダム)

下流で土砂をためるための施設



(2015年撮影)

美瑛川第8号砂防えん堤



美瑛川第5号砂防えん堤

## ブロックえん堤(ダム)

火山泥流の危険が迫っている時に急いで造る施設



たくさんのブロックを積み重ねて造った富良野川2号ブロックダム

## 流路工

泥流の氾濫、河底・川岸の浸食を防ぎ、下流まで安全に流下させます。



(2005年撮影)

白金温泉に造られた十勝岳流路工

## 床固工

主に川底や川岸の侵食を防ぎ、上流から流れ出る土砂を抑えるための施設



富良野川上流にたくさん造られた、侵食を防ぐための床固工

写真提供：旭川土木現業所

十勝岳の周りには様々な種類の観測機器が置かれています。目に見えない山の変化を調べる、地震や微動の発生を感知する、噴火や泥流の発生などを監視しています。

## 監視カメラ

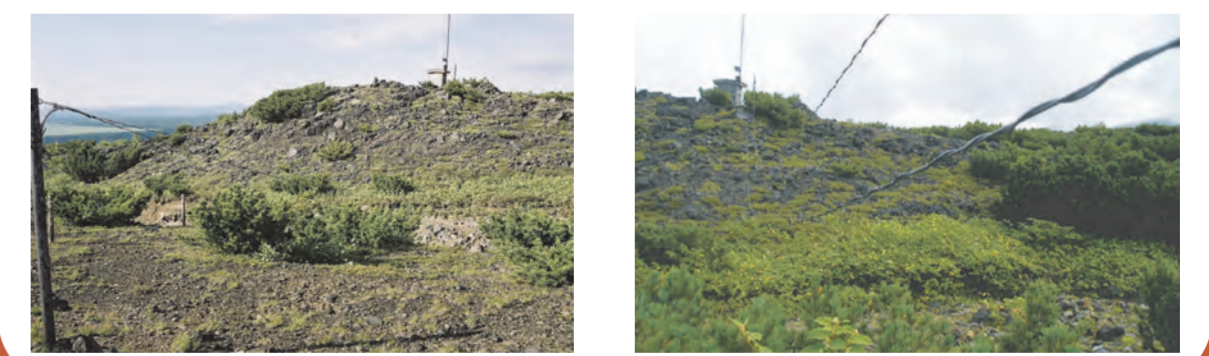
十勝岳の噴煙の様子や、泥流が発生していないかどうかを、常に見張っています。



この塔には、雨量計や雪の深さを測る積雪深計もつけられています。

## ワイヤーセンサー

沢に弱い電気を通したワイヤーを渡し、泥流がワイヤーを切るとふもとに知らせます。



## GPS Global Positioning System

目に見えない山の伸び縮みを観測するためのセンサーです。距離は人工衛星で測ります。



## 空振計

空気の振動をとらえます。夜間や悪天で火口が見えない時、噴火が起きたことを知る貴重な手がかりになります。



筒に入っているので少し分かりにくいかもしれませんが。

## 地震計

大小の地震、地下のマグマや火山ガスや熱水などの地下の動きを示す連続的な振動(微動)もキャッチします。



写真提供：旭川地方気象台